

日本体育協会指導者資格の取得

(日体協「柔道指導員」の取得を考えている人は必見)

平成27年度から全柔連公認指導者資格と日体協公認スポーツ指導者資格の連携がはじまりました。

日体協公認資格は、全てのスポーツ指導者に取得が勧められている資格で、特に国民体育大会の監督は日体協公認「柔道指導員」資格保有が条件になっています。日体協公認資格を取得するためには共通科目と専門科目を修了(合格)することが必要ですが、このうち専門科目は全柔連のA~C指導員養成講習会で取得できるようになりました。

※免除を受けるためには日体協に免除申請を行う必要があります。

【日体協公認「柔道指導員」資格を取得するには？】

日体協が指定する共通科目Iと専門科目の修了(合格)が必要です。このうち専門科目は全柔連BとCの指導者養成講習会を修了(合格)することで取得できます。

【移行措置でA~C指導員資格を取得した人は？】

移行措置によりA、B、C指導員資格を取得した人は、B指導員養成講習会の修了(合格)で専門科目が免除になります。移行措置によりC指導員資格を取得した人は、B指導員資格を取得するための要件を満たしていることが必要です。(移行Cの人もC養成講習会は免除できることになりました)

【共通科目Iとは？】

例えばNHK学園を通じて申し込み、自宅で受講する方法などいろいろな方法があります。またすでにスポーツリーダー、スポーツ少年団認定員などの日体協資格(他にもたくさんあります)を持っている人は免除されます。

【移行措置でA~C指導員資格を取得した人が、最も早く柔道指導員を取得するには？】

日体協「スポーツリーダー」(春期、受付期間2月~4月ころ)を受講し、11/30までに修了(合格)・認定すること、さらに全柔連B指導員養成講習会(課題レポートの評価を含む)を10月末日までに修了(合格)し、日体協へ免除申請を行うことで、翌年4月1日に日体協「柔道指導員」に認定されます。(図参照) なお、この方法以外では翌年10月以降の認定となりその年度の国体監督を務める要件を満たせない可能性があります。

※スポーツリーダーについてはこちらへ

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/205/Default.aspx> (日体協ホームページ)